

担当者の知識不足などが指摘されました。マニュアルでは、新型コロナウイルス感染症対策など、利用者の安全を守る点が十分ではないことを指摘し、今後市は、時代に合わせた形で改善や転換を図っていくことを明らかにしました。

★民間の優れたノウハウを活用し、市民サービスの向上を図ることを目的とした、**公共サービス民間提案制度**が、令和元年度の事業募集を休止していることを指摘し、市は令和3年度の再開に向けて、制度全体の見直しを行っていることを明らかにしました。



二 新 多 喜 議員

★市内小中学校の**コロナ対策における衛生管理体制**について質問しました。また学校における換気対策を十分にするために全校への網戸設置を要望しました。★市内小中学校における**感染者発生時の対応**を質問しました。またコロナに対するいじめや偏見・差別をなくするための指導対応を要望しました。★教職員の**コロナ禍での負担軽減**

策としてスクールサポートを市内小中学校で採用することを確認しました。★日本における小児わいせつ罪の高い再犯率を危惧し、イギリスにある「無犯罪証明書」を発行する公的機関を紹介し、今後の子どもに関わる職場での問題提起をしました。



則 芳 山 谷 議員

★**児童生徒の不登校への対応**について、増加傾向にあることを踏まえ、1人に1台配備される学習用タブレット端末を活用した対策、私教育との意見交換や研修を計画すること、中長期的に市教育と連携した取り組みを通して私教育にできる部分を業務委託する考えはないのかを質問し、ICTの活用や民間団体との連携も視野に効果的な対策を練ること、中長期的な取り組みをまとめた「不登校対策プラン」を令和3年度にも作成することを明らかにしました。その他に**学校給食におけるアレルギー対応食とコロナ禍における公共施設の使用料**について質問しました。

市民派会

桜井 忠・谷川 芳一



忠 桜 井 議員



一 芳 川 谷 議員

■一般質問

1. 新型コロナウイルスについて

陽性者を感染者と発表し、コロナ関連死もコロナ死としている。PCR説明書には「感染症の判断に適さない」と書かれており、コロナ被害を大きく見せている。このままでは自殺者が増えてしまう。指定感染症のランクを落とし、経済を回すべき。(大臣が指定感染症を維持しながら、政令改正を含め検討中)

2. ワクチン行政について

新型コロナウイルスの賠償責任を企業に負わせず国が救済措置を講じること、ワクチン承認まで時間がかかるものを最後段階を省略するということに危機感を持つ。年齢も55歳以下から打つといわれているが、その年齢では死亡者は5%以下、効果はあるのか。(安全で有効性の高いワクチンが提供されることを期待している。その他には答えられない)

3. 新型コロナウイルス禍による職員管理

苫小牧市以外で勤務する職員の管理は適切になされているか。往来自粛期間は守られていたのか。(3月下旬に感染防止対策を施しながら勤務や出張をしていた)

4. 一般・事業系ごみについて

菓ごもりでごみが増えている、3台増車をしたが業者と十分話し合い対応するべき。(家庭は増えているが事業系は減っている、民間の事業に介入は難しい)

5. 明徳町の犬舎、飼育について

住宅街で多数の犬を飼っており、近隣住民から苦情が出ている。(住宅で27頭の犬を飼育している。元年道へ登録完了している。2年苦情があり立ち入り調査をした)

6. 市内公園のキツネ出現対策

街中にキツネが出る。エキノコックスの心配があるので捕獲など対策は。(原因除去に努める)

7. 道路占用許可について

電話線工事などで道路占用許可がいらなと言われたが。(維持管理作業は占用許可申請はいらないが、作業を把握する必要性から同意書の提出を求めている)